

日本赤十字茨城県支部常備救護班等災害救護訓練に参加して

県南支部 坂本道彦

7月7日(土) つくばカピオにおいて日本赤十字社 茨城県支部常備救護班等災害救護訓練が実施されま した。

参加機関は、日本赤十字社茨城県支部、水戸・古河赤十字病院救護班、茨城県赤十字血液センター、つくば市消防本部、日赤関係団体約130名で救護訓練を行いました。

本会奉仕団からは、県南支部より立花正敏、藤野 勝則、田中広一、倉持孝浩、坂本道彦の5名の団員 が参加しました。

訓練は、災害の多発化や甚大化を踏まえ、今後の 大規模災害に備えるため、災害救護活動に必要な知 識や技術のスキルアップを図るとともに、関係機関 との連携と統制のとれた救護活動を行うことを目的 に総合的な訓練が実施されました。

今回の災害救護訓練の想定として、つくば市は、 国の研究機関等が多数立地し外国人研究者やその家 族が多く居住していること、また、国内唯一の聴覚・ 視覚障害者のための高等教育機関が立地しているこ とから、これらの地域の特性を踏まえ、災害により 外国人や障害者を含む多くの負傷者が発生したこと を想定して実施されました。本部より本会奉仕団へ 連絡があり、現場へ急行し救護活動を開始するという訓練が実施されました。

訓練の内容は、2回シミュレーションを行いました。まず、本会奉仕団の現場到着を本部へ報告し、指示を受け現場へ急行します。周りの安全確認と施術スペースを確保し、医師のトリアージのもと運ばれた負傷者を施術しました。柔道整復師として整復・固定を施行しつつ、負傷者への声掛けを行い不安の解消に心がけました。

訓練に参加して思うことは、災害発生時は相当なパニックになることが予想されます。そこで重要なことは、各関係機関との連携、冷静な判断と迅速な処置、負傷者の不安を解消するような声掛けが本会奉仕団に求められるのではないかと思いました。今回は外国人や障害者も含む訓練でしたので身振りを手書きメモ、携帯電話のアプリを活用して対応するなど瞬時に判断する必要があると痛感しました。訓練を繰り返す事によって心の準備もできますし、災害現場に遭遇した際は冷静な対応ができるのではさいを思います。いざという時のためにぜひ救護訓練に参加して多くの団員の皆様に体験していただきたいと思いました。



つくばカピオで開かれた日赤茨城県支部災害救護訓練

全国の壁厚く茨城県代表情敗

事業部長 荒井健吉

文部科学大臣杯争奪 第27回日整全国少年柔道大会・第8回日整全国少年柔道形競技会並びに厚生労働大臣旗争奪 第42回日整全国柔道大会が10月7日(日)、柔道の聖地、東京都文京区の講道館大道場において満員の観衆の中、熱い戦いが繰り広げられました。

三つの大会とも茨城県から選抜され出場した選手 は健闘及ばず全国の厚い壁に阻まれ結果を残す事が できませんでした。

午前中に行われた、少年柔道大会では本県チームはトーナメント方式2回戦から出場し、福井県チームに2対1で勝ち駒を進めました。しかし3回戦は重量級の選手を揃えて出場してきた京都府チームに健闘及ばず1対3で敗れてしまいました。選手の指揮を執った相沢寿監督は「子供達は大きい相手に向かってしっかりとした試合をしてくれた。残念な結果になってしまったが負けた試合から学んで、来年に向けて精進してほしい」と健闘を称えていました。

次に行われた少年柔道形競技会は、まずブロック 予選が行われ、4ブロックに各県代表が7チームずつ 分かれ得点方式で競いました。各ブロックから1位の チームのみ決勝ブロックに進出しますが、全国のレ ベルは高く本県代表チームは予選を勝ち抜く事がで きませんでした。

午後からは全国各地から選抜された柔道整復師がチームを作りトーナメント方式で競い合う、日整全国柔道大会が開催されました。中関東(茨城県・埼玉県・山梨県)選抜チーム5名の中に本県から渡辺昇平会員、仁平悠太会員の2名が選抜され出場しましたが、初戦から昨年優勝の南関東チームと戦い激戦を展開しましたが惜しくも1対2で破れ初戦敗退となってしまいました。監督を務めた本県の松岡峰夫会員は「負けは負けだが内容的には僅差だった。優勝を狙える力はある」と試合を振り返っていました。

一日取材観戦をして、子供達が一生懸命戦う逞しい姿を見て感動し、また同業者同志が必死に戦う姿を目の当たりにして敬服するなど、各大会とも価値ある素晴らしい大会でした。

少年柔道大会代表選手

先鋒:酒井 涼斗(誠錬館)

次鋒:水井 健介(下館武道館)

中堅:青木 玲奈(常総市体育協会石下柔道部)

副将:宮部 蓮匠 (無心塾飯島道場) 大将:杉山 諒成 (下妻優心塾)



少年柔道形競技会代表選手

取:香山 大翔 受:金井島 志織 (絹西柔道クラブ)



「上級救命救急講習会」 県南支部土浦地区から33名参加

県南支部 高野俊瑞

6月17日(日) 午前9時より土浦消防署にて「上級救命 救急講習会」が開催され、県南支部土浦地区から33名 が参加しました。

今回の講習内容は、午前の部では、心肺蘇生法の手順やAEDの使用手順を学び、実技試験を行いました。午後の部では、熱中症に対する応急手当、気道異物の除去、止血法及び搬送方法を学び、最後に筆記試験を行いました。

上級救命救急講習会は、初めての参加でしたが普通 救命救急講習会では受けない小児・乳児に対しての心 肺蘇生法やAED使用法、気道異物除去の講習も受けられ、1日を通して充実した勉強が出来ました。AEDについては、学生は、小中高と学校で使用方法が学べるのに対し、大人は、免許証取得時など学ぶ場が限られているため、定期的に講習会に参加することが大事だと感じました。

また、休憩時間には、会員同士で日頃の治療の意見 交換など、たくさんの交流を図ることができ、大変貴 重な時間となりました。

来年は県ので参増すると今がれと機関で参増す習を活いてもま講事にたいのだ療きにたいまするでで後し思います。



熱心に講習を受ける土浦地区会員

県西支部筑西地区夏季勉強会に参加して

県西支部 藤田智之

8月26日(日)県西支部筑西地区の勉強会が結城市 において開催されました。

勉強会は、まず初めに荒井健吉地区長による「空手大会救護の実践講習」、続いて水戸支部の岩本勝久先生による「マラソン大会における救護活動」、最後に副地区長の箱守志農夫先生による「業界の動向と対応」の講義でした。

救護活動に参加した岩本先生や荒井先生の言葉からは、各スポーツ大会において選手の怪我に対して、 瞬時に判断処置し競技に復帰してもらうことが大事と 伺い、先生方の経験上テーピング固定や時間との闘い などを聞き大変参考になりました。

これから茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックなどが順次開催されることに伴い柔道整復師が活躍する場が増えてくると思うので、私自身も色々な先生方からアドバイスをいただきながら知識と実践を交え勉強していきたいと思いました。

箱守先生からは、保険の取り扱い等についてわかり やすくご指導していただき、とても勉強になりました。 これからも保険講習会など積極的に参加し、適切な保 険請求をしていきたいと思います。

今回、各先生の講義はとても参考になり勉強になり ました。この様な勉強会を開催していただき、誠にあ りがとうございました。

平成30年度 県西支部講習会

8月26日(日)常総市五箇公民館に於いて、平成 30年度県西支部講習会が猛暑の中多くの会員が出 席して開催されました。

今回の講習会は、公益社団法人茨城県柔道整復師会介護部長荘司智也先生、副部長村山武志先生を講師に「地域包括ケアシステム」に、柔道整復師が「活き活き健康体操」を通して専門技術や知識を生かし、より地域に密着した新たな業務活動を展開するという趣旨で開催されました。

内容は、「地域包括ケアシステム」参入への道を 拓くために知っておくべき情報や、介護予防事業に ついて詳しい専門知識などの講義や、現在各地で行 われている「活き活き健康体操」の具体的な運動メ ニューや実践的な指導方法、受講者が負傷しない注 意事項などを教えていただきました。

「包括ケアシステム」の中で柔道整復師には、リハビリテーション専門職として新しい業務拡充の可能性があることを提案し、一般介護予防事業として、地域のリハビリテーション活動を支援する業務活動が見込まれることから、新しいサービスとして緩和されたデイサービスや、接骨院をリハビリ体操の場として地域の住民に提供し、憩いの場をつくること、また、短期集中介護予防サービスとして、公共の場で体操指導を行う機会があることなど、参入可能な分野を多角的に分析することの必要性を実感しました。

また、「活き活き健康体操」では、効果的な運動 メニューを学びながら体験し、ウォーミングアップ やリズム体操を行いました。

猛暑の中、多くの先生方が汗を流し「活き活き健康体操」を体験され、これから地域住民の皆様への業務活動拡充、サービスの提供に活かされていくものと思われます。 (広報委員 磯島昌彦)



「活き活き健康体操」に取り組む先生たち

県北支部 保険学術講習会の開催

10月13日(土)日立市のシビックセンターにて 誠鋼社(東京都)並びにメディカルシステム社(石川県)のご協力のもと県北支部学術講習会が開催されました。

まず最初に超音波画像計測機の解説と操作方法の 説明がなされ、その後実際に最新機器をもちいた実 技指導が行われました。ワイヤレスを活かしたプロ ーブの当て方や操作のコツ、画像の見方など誠鋼社 の担当者と質疑応答を交えたデモンストレーション をしていき、またWi-Fiを利用した利便性の良さな ど説明もなされ、参加した会員はメモをとるなど熱 心に耳を傾けていました。

続いて温熱バキューム機器とラジオ波をもちいた 高周波温熱機器の解説と操作方法の説明がなされま した。温熱バキューム機器は皮膚を高周波温熱と共 にバキュームで直接吸引して筋膜の相互干渉を減少 させ、赤色LEDにより深部の筋肉層まで届くのが特 徴の施術機器とのことで、またラジオ波をもちいた 高周波温熱機器はイオンの動きを活性化させ体内の 深部加温による代謝の促進効果、筋肉の緊張緩和や 疲労回復が期待できる機器との説明がなされまし た。実際にこれらの機器をもちいた実技指導となり、 会員は腕や腰などに実機を当て担当者の説明を聞き ながら実践していました。

休憩をはさんだ後、メディカルシステム社の担当者による姿勢計測システム機器の解説と操作方法の説明がなされました。この機器は装着する機材もなくカメラの前で1分程ポーズを撮影するだけで体の歪みやバランスをチャート化し点数も表示される機器とのことで、詳しい説明後には実技による計測が行われました。姿勢から推測される筋肉の状態を可視化する正確さ、姿勢のタイプの判定などが一目でわかりやすく施術ツールの一つとして会員は一様に関心を寄せているようでした。最後に質疑応答のあと講習会は終了となりました。

(広報委員 古内裕人)



会員は腕や腰などに実機を当て担当者の 説明を聞きながら実践

開催報告

『水戸支部テーピング等講習会』

水戸支部副支部長 新井俊行

10月20日(土)、水戸支部会員20名が参加し、『水戸支部テーピング等講習会』が開催されました。水戸支部会員の荘司智也先生に講師をお願いし、前回開催からの流れをふまえ、スポーツ現場における足関節最新テーピング法の復習、シンスプリントに対するキネシオテープによるテーピング法、また距骨の回旋障害に対する考え方をレクチャーしていただきました。

我々柔道整復師にとって、各種スポーツ大会の現場のみならず、日々の施術所でも十二分に応用活用できる実践参加型の講習会となり、参加者から次回開催を要望する声もあがるなど大好評のうちに終了することができました。

10月ででは、10月ででは、10月ででは、10月ででは、10月ででは、10月ででは、10月では



スポーツ現場での足関節最新テーピング法を学ぶ

第3回水戸黄門漫遊マラツン ~ランナーケアに参加~

10月28日(日)「第3回水戸黄門漫遊マラソン」が開催されました。この大会は国道50号水戸市南町2丁目をスタートし茨城県庁、ケーズデンキスタジアム、イオン水戸内原店、千波湖を通過し、茨城県三の丸庁舎のゴールを目指す文字通り水戸市内を漫遊するコースを全国から参加した13000人のランナーが疾走しました。

本会からは、ランナーケアとして19.4km地点に 嶋﨑英恭、荘司智也、杉本秋生、久保田浩将、木 村栄作の5名、29.3km地点に藤田博美、中川文夫、 櫻井雅明、岩本勝久、早川好機の5名、33.2km地 点には藁谷和彦、新井俊行、宮部和浩、後藤洋彰、 長谷川秀樹の5名の計15名の会員が参加しました。

当日は晴天に恵まれ朝のうちは涼しかったものの、昼過ぎには気温も上昇し走るには少し暑いくらいの陽気となり、序盤で快調に飛ばし過ぎてしまい、

足が攣ってしまうランナーが多く見られました。

私が担当した29.3km地点では1位がゴールした後の11時半ごろから不調を訴えるランナーが続々と入ってきました。コールドスプレーによるアイシングを希望するランナーが多く、軽くスプレーをしてすぐにコースに復帰するよう促し、処置が必要なランナーにはストレッチ、アイシング、テーピングを手早く行いできるだけ早いリスタートが切れるように処置を行いました。併設されている救護所の医師・看護師の方々も昨年に引き続き参加の方がほとんどで、連携もスムーズに取れていたと思います。すぐ手前の関門が13時30分に閉鎖されるまで途切れることなく処置を行い、コールドスプレーによるアイシングのみが446名、テーピング・ストレッチなどを行ったランナーが76名の計522名のランナーに利用していただきました。

ほかの2地点のランナーケアでも概ね昨年同様、 大勢のランナーに処置を行い、全員日頃の施術スキルを大いに発揮することが出来たと思います。参加 された会員の皆様ありがとうございました。

(広報委員 岩本勝久)



ランナーケアとして参加した会員



早いリスタートが切れるように処置を行う

会員になって想う!

水戸支部 野澤行宏

本年4月に入会しました野澤行宏と 申します。私は小学生の時から柔道を はじめ、柔道に携わっているうちに柔



道整復師という職業があることを知り、自然と憧れを抱くようになりこの道を志すようになりました。

新規開院したばかりで分からないことばかりですが、 少しでも地域の患者さんのお役に立てるように努力して いこうと思います。これからよろしくお願いいたします。

茨城県柔道整復師会 チャリティーゴルフ大会開催

10月14日(日)水戸市の浅見ゴルフ倶楽部にて、「第12回公益社団法人茨城県柔道整復師会チャリティーゴルフ大会」が開催されました。今回はゲストに公益社団法人日本柔道整復師会より工藤鉄男会長、公益社団法人東京都柔道整復師会より伊藤述史会長、他多数のゲストをお迎えし盛会に開催されました。

個人戦ネットの部優勝は県西支部の城内成一会員、準優勝は工藤鉄男会長、3位は県南支部の山口康会員でした。グロスの部優勝は工藤鉄男会長が獲得。支部対抗団体戦では久しぶりに水戸支部が優勝しました。 (広報委員 岩本勝久)



チャリティーゴルフ大会に参加した会員



支部対抗団体戦は水戸支部が優勝

優勝者喜びのコメント

県西支部 城内成一

初めて、公益社団法人茨城県柔道整復師会チャリティーゴルフ大会に参加させていただきました。大会当日はあいにくの曇り空の下でしたが、一緒に回らせていただいた先生方、キャディーさんのお陰で緊張せずに、楽しんでプレーすることが出来ました。

会場となった浅見ゴルフ倶楽部は、チャンピオンコースらしく各ホールとも変化に富み難しく、特にグリーンはアンジュレーションもありスピードも速く悩まされましたが、運とハンディキャップに恵まれ優勝することが出来ました。

このゴルフ大会は、普段お会いすることができない先生方と親睦を深め、ご縁をいただき、お話をする機会を与えてくださる素晴らしい場所だと実感しております。

そして何より、昨年末に茨城県柔道整復師会に入 会させていただいた折に、ゴルフに誘っていただい た県西支部の諸先生方に深く感謝しております。

救護員派遣の近況

7月28日 (土) 29日 (日)

第17回川崎杯ミニバスケットボール大会

ひたちなか総合運動公園体育館

藁谷和彦 (水戸支部)

大腿部挫傷、膝関節捻挫、足関節捻挫などの7名の選手にテーピング、アイシング等の処置をしました。

8月25日(土)

第53回関東相撲選手権大会

霞ヶ浦文化体育会館

八重柏佳史、八重柏佳佑 (県南支部)

顔面部打撲の選手にアイシングの処置をしました。

8月26日(日)

第53回関東相撲選手権大会

霞ヶ浦文化体育会館

堀越滋、逆井秀樹 (県南支部)

下腿部挫傷の選手にアイシングの処置をしました。

10月14日(日)

第35回茨城県スポーツ少年団スポーツ大会 柔道競技

茨城県武道館

相沢寿 (県西支部)

頚部捻挫、肋骨骨折の疑い等の8名の選手にアイシング、湿布等 の処置をしました。

10月28日 (日)

第3回水戸黄門漫遊マラソン

日本農業実践学園直売所 (19.4km地点)

嶋﨑英恭、杉本秋生、荘司智也、久保田浩将、木村栄作(水戸支部) 水戸市土木補修事務所(29.3km地点)

藤田博美、中川文夫、櫻井雅明、岩本勝久、早川好機 (水戸支部) 千波湖西駐車場 (33.2km地点)

藁谷和彦、新井俊行、宮部和浩、後藤洋彰、長谷川秀樹(水戸支部) 1000名以上のランナーにテーピング、アイシング、ストレッチ等の 処置をしました。

11月4日(日)

第28回茨城県4地区対抗柔道大会

茨城県武道館

塚本孝一、藤田智之 (県西支部)

肩関節捻挫、肘関節捻挫などの3名の選手にアイシング、テーピングの処置をしました。

■新入会員■



水戸支部 峯村 文明

みね接骨院

水戸市笠原町506-9 ナツミマンション103

☎ 029−279−0954



県南支部 **鈴木 一大**

鈴木接骨院

つくば市みどりの東7-7

☎ 029-886-5799

《計報》

横倉 アイ (よこくら あい) 県西支部 横倉 浩二 会員の母 9月7日死去 87歳

湯本 富夫 (ゆもと とみお) 県西支部 湯本 光晴 会員の父 9月12日死去 81歳

稲垣 つね (いながき つね) 県西支部 稲垣 哲男 会員の母 10月27日死去 95歳

出沼 秀樹 (いでぬま ひでき) 県南支部会員 11月7日死去 59歳



心の栄養になるお記

毎月第一木曜日(午後5:15~生放送)茨城放送(ラ ジオ) ミツコdeリラックスのホットボイスのコー ナーで「足元からの健康法」と「心の栄養になるお 話」で出演させていただいております。

今日のお話しは「痛み」を悪くとらえないで! 痛いことを悪いことととらえないでください、患者 さんは辛い痛みを楽にしたいと思っているのに、なん て矛盾したことを言うのかと思われそうですが、痛み によって色んな事を教えていただけているのです。

どういうことかというと、痛い所があるから健康のあ りがたみが解り、今まで無理して身体を休めてあげてこ なかったので健康に気をつけなきゃねと思いませんか。

そして、もう一つ大事なことは「痛みは心の声な んです!」身体の声だけではないんですよ。

「心が疲れているよ」という心の声なんです。人 は誰でも心配事や不安、悩みがありますよね。でも どうしてよいか解らないことが多いものです。その 心配事や不安や悩みに対して「一歩踏み出して」と いう心の声なんです。

日本では昔から「膝つき合わす」「膝を折って話 をする」という言葉があります。

大事な時や、大切なことを話す時は向かい合って 正座をして話す習慣があります。

膝が痛くなった時には「何か大事なことを話さな ければならないのに我慢している時」そんな時に痛 くなることもあるんです。

例えば、子供さんに言わなければならないことがあっ ても、言ったら喧嘩になるから言わないでいることが多 いと思います。そんな時に膝の痛みが続くことがあります。

言わなければ「聞いてなかった」となります。言っ ておけば「あの時親から言われてたな」と後で気づ く時が来て感謝にもつながります。

相手の事を思いやり、言いにくいことも言ってお くことが大切なんです。すると痛みが楽になるんで すね、不思議ですね。

ですから痛みを悪者にしないでくださいね、痛み は天使なんですよ!

痛みによって何かを教えてもらえるんです、痛み に対して前向きに、正しくとらえて、心と身体の関 係から痛みを見つめていくことが大切なことではな いでしょうか。

心の健康が身体の健康につながるのではないかと 思います。

私は、日頃このように考えて治療に取り組むよう に心がけています。 (広報委員 磯島昌彦)



本番中の磯島昌彦先生

足元からの健康法

現代人の足元に変化が出てきていて、危険な状況 になっています。

靴を履いて硬い平らな所で生活するようになって、 足の指を使わなくなり重心が踵によってしまい、また 足裏の刺激不足により足元が不安定になっています。

特に、足の指が地面に着いていない「浮き指状態」 や、「外反母趾」になっている人が多くなっています。

身体の土台である足元が不安定になって、膝、腰、 首への負担が大きくなって、色々な痛みに繋がって います。また、子供さんや高齢者の転倒の原因にも なっています。

足元から健康を考える必要があるのではないでしょうか。 地域への貢献として、地元の教育委員会さんのご 協力により、中学校の生徒さんの足指の状況調査と、 足元の大切さと運動能力向上と、けがの予防のため の啓蒙活動をさせていただいております。

今後会員の皆さんと協力して活動していきたいと 思っています。 (広報委員 磯島昌彦)



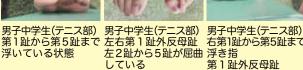
浮いている状態



左2趾から5趾が屈曲 浮き指 している



右第1趾から第5趾まで





第1趾から5趾まで浮き指 2趾から5趾まで屈曲している 第1趾と2趾が重なり、



女子小学生(バレーボール部) 女子小学生(バレーボール部) 女子中学生(テニス部) 第1趾から5趾まで浮き指



左右第1趾外反母趾、右の方が 強い、O脚になっている 第5趾と4趾が重なっている 上から見ているので浮き指には見えない

編集発行人 竹藤敏夫 発行責任者 黒澤玄 編集部員 髙儀和広 磯島昌彦 桜井亮 岩本勝久 古内裕人 公益社団法人茨城県柔道整復師会 〒 310-0804 水戸市白梅二丁目 2 番 39 号 TEL 029(247)8111 FAX 029(247)8126 E-mail shiraume08@ibaraki.email.ne.jp







物理療法機器、介護福祉具健康機器販売

関东医療商事

〒319-2221 茨城県常陸大宮市八田 1127-5 TEL 0295-53-4211 FAX 0295-53-3383

おかげさまで46周年

塚本工業株式会社

ギフトセンターツカモト

茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2880-2

TEL 029-834-2560 FAX 029-834-2563

~旅のおともに~

日本交通株式会社

茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷2880-1

TEL 029-843-3380 FAX 029-843-3380





あなたが老後を心から愉しめるように。 健やかで充実した日々に寄り添い、今日から変えてゆく。



MetLife

〒310-0011 水戸市三の丸 1-4-73 水戸三井ビル 5F | 水戸エイジェンシーオフィス すべての人にとっての老後を考え、 担当:高塚、木村、金子 費かで愉しい人生に変えてゆく情報サイト | TEL: 029-226-6271 | FAX: 029-228-2459

団体保険は接骨院経営者の基礎となる保険です!

柔道整復師 総合補償制度

総合保障コンサルタント・替助会員

アームリンク株式会社

代表取締役 小林 和義 TEL 027-255-3233 URL http://armlink.org



TRIO

信頼のネットワーク 地域密着 Door to Door

トリオ医科株式会社

〒 300-1216 茨城県牛久市神谷 6-6-1 TEL029 (873) 8553 FAX029 (873) 8796 東京(営)大田区・北関東(営)館林





暮らし継がれる家



〒310-0801水戸市桜川1-1-25 大同生命水戸ビル5階 http://www.mitsuihome-ibaraki.com/

50 0120-26-4331

導入実績10,000件以上!接骨院・整骨院専用のレセコンなら



使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートで ご好評を頂いている「三四郎くん」は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



SSP 株式会社 エス・エス・ビー

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874







一部ご希望に添えない場合があります

HP https://www.sanshiro-net.co.jp/home/

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース http://www.jusei-news.com/